

# 北総鉄道の運賃値下げに対する考え方

2009/8/11 景&Y入手

## 1 運賃値下げの効果等

・ 成田新高速鉄道の開業 ・ 北総鉄道の運賃値下げ



・ 北総沿線地域の魅力アップ



・ 北総沿線地域の活性化  
・ 土地区画整理事業の推進、千葉NTの土地分譲の促進

## 2 会社の状況と運賃値下げをした場合の支援の考え方

平成19年度決算

- ・ 単年度収益 15億円
- ・ 累積損失 336億円
- ・ 債務超過 87億円
- ・ 翌期繰越金 92億円



運賃値下げをした場合



<ul style="list-style-type: none"><li>・ 単年度収益 減少</li><li>・ 累積損失 増加 (減少の遅延)</li><li>・ 債務超過 解消時期の遅延</li><li>・ 翌期繰越金 減少</li></ul>	負担・支援	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 地元市村</li><li>・ 千葉県</li><li>・ 京成電鉄</li><li>・ 都市再生機構</li></ul>
--	-------	--

## 運賃問題に関する検討状況

千葉県及び市川市、船橋市、松戸市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市、印旛村、本埜村（以下、「6市2村」という。）は、運賃問題について検討してまいりました。

（参考）

### 1 運賃問題に関する勉強会について

第1回（平成19年11月6日）

第2回（平成20年1月17日）

- ・沿線6市2村事務担当者レベルで課題の抽出や今後の進め方等について意見交換

第3回（平成20年2月20日）

- ・国交省の担当者（オブザーバーとして）の出席をいただき、沿線6市2村の課長級レベルで質疑応答

第4回（平成20年5月23日）

第5回（平成20年6月19日）

第6回（平成20年7月28日）

第7回（平成20年11月19日）

### 2 運賃問題に関する副市長等会議及び課長等会議について

副市長等会議（平成21年1月22日）

課長等会議（平成21年2月26日）

課長等会議（平成21年3月30日）

- ・前回の課長等会議での議題に関する質問等に対し、説明や意見交換を行った。

副市長等会議（平成21年4月24日）

- ・運賃値下げに係る具体案について、事務局から説明し、意見交換を行った。

これ以降も市村を訪問し、意見交換を何度か行ったところである。

## 北総鉄道の運賃値下げについて

### (1) 条件

- ①成田新高速鉄道の開業に合わせる。
- ②運賃の平均値下げ率を最低でも5%とすること。
- ③全線で通学定期割引率を引き上げる。

(2市2村による通学定期助成並みの運賃とする。)

※5年後に見直し

### (2) 支援・負担

- ①県 補助で支援する。

2億円で5年間 計10億円の支援

- ②6市2村 補助で支援する。

2億円で5年間 計10億円の支援

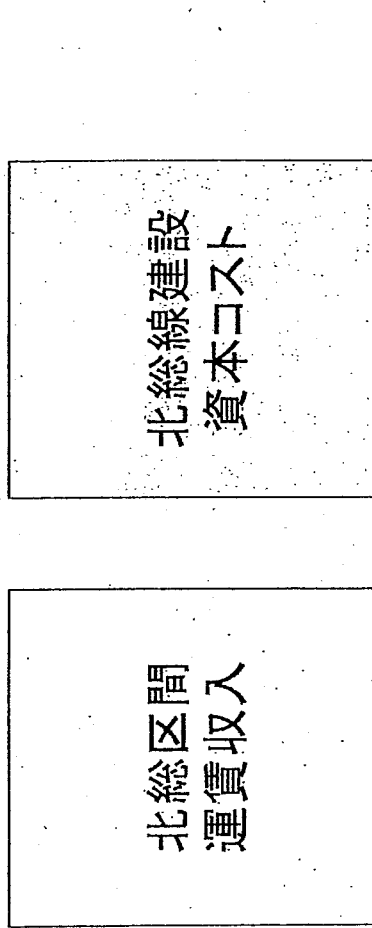
- ③京成電鉄 線路使用料等による負担

残り約4億円で5年間 計約20億円の支援

- ④北総鉄道の自助努力

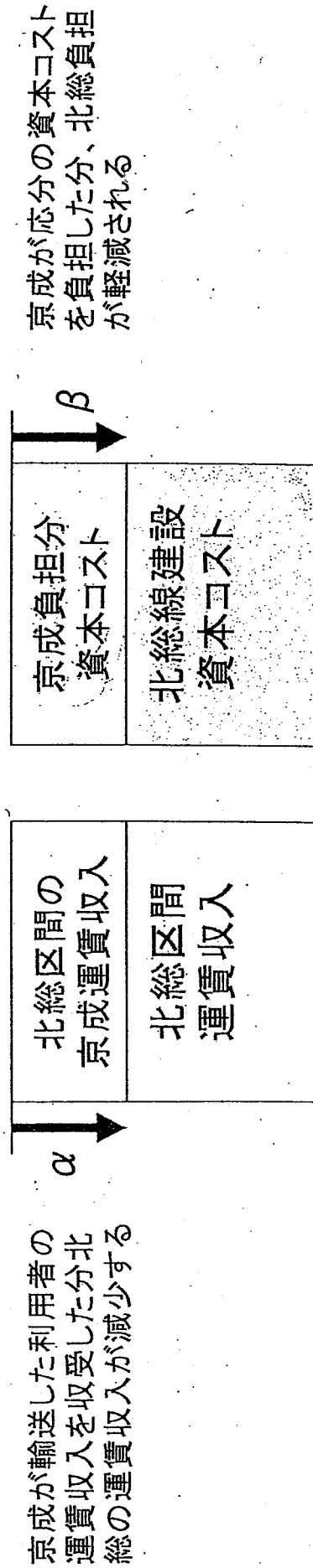
京成の線路使用料と北総鉄道の経営改善との関係(資本コスト部分)

1. 現状



北総鉄道が北総線建設に係る資本コストを全て負担する一方、北総線区間の運賃収入の全てを北総鉄道が収受。

2. 成田新高速鉄道開業後



京成電鉄が北総線建設に係る資本コストについて応分の負担する一方、北総線区間における京成利用者の運賃収入を京成が収受することとなる。